

み あ さ さ づ く り



Hello!
Hope!
Happines!

メンドシーノ訪問団を お迎えして

鎌倉・日光・京都・広島など約10日間の日本国内旅行を経て、6月30日から7月5日までの6日間メンドシーノからの訪問団28名が美麻に滞在し、様々な体験と交流を楽しんだ。

あいにくの不順な天候の中、心ゆく体験ができないのではないかと心配されたが、ホームステイ受け入れ家庭の皆さんや学校関係者のご尽力のおかげで、7月5日朝ぼかぼかランド出発時の

子どもたちの顔には満足そうな表情が溢れていた。

今回の第14回訪問団を迎えるにあたり、1月から準備会を重ねてきたが、実行委員会事務局・ボランティアネットワーク・美麻小中学校の先生方や PTA・ホームステイ受け入れ家庭・自治会役員の方々等に多大なお支えをいただき、無事終了できたことに心より感謝申しあげたい。

(メンドシーノ姉妹都市交流実行委員会
実行委員長 竹内 彰)

QRコードを読み取ってパソコンやスマホでホームページをご覧ください。



ホームページ
美麻Wiki



facebook





7月3日（月）、メンドシーノ訪問団との交流会です。「メンドシーノの方々に美麻を心から楽しんでもらいたい」と願い、この日のために精一杯準備をしてきた子どもたち。当日は、自分の知っている英単語に身ぶり手ぶりも合わせながら、温かな交流をもつことができました。

〈子どもの感想〉

・メンドシーノの皆さんが学校に来てくれました。ほくはとてもうれしかったです。来年は、ほくたちがアメリカに行くので楽しみです。アメリカでは、色々な料理があって楽しみなので待ちきれません。（5年 江津和輝さん）

・今日はメンドシーノ交流でした。まずは歓迎セレモニーです。じゃんけん列車では、始めは美麻の人とやってしまったけれど、後からメンドシーノの方とできたのでよかったです。ドッチボール交流も喜んでもらえたようでした。（6年 間藤仁美さん）



2017メンドシーノ交流事業

ようこそ我が家へ！ 初めてのホストファミリー

私の家に泊まったのは、メアラとメラディーという女の子です。2人とも大人っぽくてすごくいい子でした。メアラは、昨年私がメンドシーノに行った時泊めてくれたお家の子なので、1度会ったことがあります。メラディーはおとなしい子だけどすぐ仲良くなりました。自由日には、国際芸術祭に行きました。街中のいろんな場所に行って、メアラたちもすごく楽しそうでした。お昼にはラーメンを食べました。2人は餃子とラーメンが大好きで、みんなでおいしく食べました。次の日は、ボウリングに行きました。2人はボウリングが初めてと言っていたのに、2人ともストライクを出してすごいと思いました。

こんな楽しい毎日でも4日で終わりです。別れはやっぱり寂しかったです。英語なので言葉が通じない時もありましたが、気持ちは通じてる（たぶん）!!とにかくすごく楽しかったです。また美麻に来てほしいです。

（6年倉品誠夏）

我が家にとっておそらく今年1番の大事事となる出来事でした。言葉の壁に頭を抱えながらの日々でしたが、最後の夜は家族みんなで心から交流を楽しむことができました。美麻に住んでいるからこそ得られたこの素晴らしい体験、感謝申し上げます。（倉品敦子）



メンドシーノ 芸術交流10周年

メンドシーノと大町美麻地域の芸術交流プログラムは、双方の地域の人たちに支えられて10年目を迎えることができた。交流の出発点である美麻では、メンドシーノとの毎年の交流が37年もの間続いています。そんな長い経過の中で学校間交流や芸術交流が実を結んでまいりました。交流を支えてきたすべての関係者の皆様の努力に感謝いたします。

この交流は地方の小さな町や村の国際交流だということに意味がありません。かつて林業で栄えたメンドシーノの町は、時代と共に疲弊し衰退しましたが、その後1950年代後半頃から当時の自然回帰ムーブメントなどの時代背景の中、一人の芸術家をきっかけに多くの若者たちが移り住み、芸術の町として生まれ変わって行きました。当時の若い芸術家や愛好家の先進的な考えや思いが町を救ったのだと思います。また、時代から取り残された町並みや建物が、かえって古き良き時代の町の雰囲気色濃く残す結果となり、幸いにも町の再生に役立ったのです。

今では町並み保存地区にも指定され映画のロケ地としても有名で、北方リフォルニア地方を象徴する愛される町となり、多くの人々にぎわっています。

世界中で芸術家たちによって町が再生されていく例が多くあり、芸術が定着した町には新たな文化や考え方が根付き、私たちはこの芸術交流を通して、自分たちが住む身近な町が感性溢れる文化的な町に発展することを期待し、また小さな町どうしの交流だからこそ、親しみのある国際交流となると考えています。

小田時男



平成29年度会員活動支援事業

みあさっこレストラン開催!

子どもたちが地元産の材料を料理して学ぶ、おもてなしの教室を開催します。

日時 平成29年8月10日(木)
午前9時～午後1時30分

※ 会場には8時30分から入れます。
※ 学校プールへ行く子は、早めに帰ることができます。

会場 総合福祉センター梨嶺 調理実習室

参加材料費 小中学生 200円
高校生以上 300円

第1回目メニュー

スパイスで作る夏野菜カレー、地粉の薄焼きぱんチャパティー、サラダを予定しています。

参加申込 予約制です 8月7日までに、二重 鈴木までお願い致します!

こどもの参加、大人のボランティア参加、食べるだけでも参加できます。

地域の食材を提供いただける方を募集中です!

お米、野菜など、ご協力していただけのものがあれば、ご連絡ください! 子供達にも生産者さんをご紹介させていただき、地域の学習にもつながればと思います。どうぞよろしくお願い致します。



■■お問い合わせ先■■

『みあさっこレストラン』へのお問い合わせは、鈴木(二重)まで
電話 29-2831又は、080-2212-3831

パンダクラブのみんなと交流遠足



今年も、パンダクラブのみんなと交流遠足！！
例年と違うところは、電車を使ったこと。電車に乗ったことがある子もない子も大喜びでした。

『早いねえ』『あっ！！見て！見てえ！』などと、バスや車とまた違った景色、音、動きに大興奮でした。松川駅から徒歩で、リンリンパークまで行きました。

天気にも恵まれて、声を上げながら水遊びも出来ました。それから、親も子も混ざり、ゲームしたり、みんなとってもキラキラしてました。

最近を思い返すと、子供と遊べてないなあと実感！こういう場で色んなことに気付き、子どもたちと大笑いしながら走り回れる！とても素敵な行事だなあと思いました。

(みあさ保育園 保護者 青山 綾子)

この人紹介

不思議な縁

本年3月下旬から、大町警察署美麻警察官駐在所で勤務しております。

前任地は「軽井沢警察署」でしたが、軽井沢といえばウィンタースポーツの「カーリング」や「アイスホッケー」が盛んな地で、懐かしの「長野オリンピック」、そして今年の冬は「冬季国体」が行われました。

そして今回の異動で「大町警察署」での勤務となりましたが、「大町警察署」管内はウィンタースポーツの「スキージャンプ」が有名な場所で、こちらも軽井沢と同じく「長野オリンピック」や「冬季国体」が行われた地区を管轄する警察署であることから、何か「不思議な縁」を感じております。

・・・実は長野オリンピックが行われた当時、偶然にも私は「交通機動隊・軽井沢分駐隊」という白バイ隊で勤務しており、オリンピック開催中は軽井沢警察署のカーリング競技警備本部に派遣されて仕事をしていたのですが、白馬でジャンプ競技が行われた際には、白馬村のオリンピック道路に赴いて交通整理部隊のサポート任務をしていたので、このあたりから「不思議な縁」が続いているのかもしれない。



(美麻駐在所 相馬盛敏)

珍プレー 好プレー、 盛り上がった運動会

爽やかな春風が吹く5月28日（日）、美麻小中学校グラウンドにおいて、美麻地区運動会が開催されました。総勢250人を超える大勢の方々にご参加頂きました。

『大玉おくり』に始まり、幼児向けの『大きくなりました！』やご年配向けの『大物だぁー！』、好評の『パン食い競争』、全員参加の『美麻王決定戦』など、珍プレーあり好プレーありで、大変盛り上がった運動会となりました。

分館では、参加者集めに苦労されているとの声も聞こえる中、これだけの人数が集まり、これだけの盛り上がりを見ると、ここ美麻地区にはまだまだ盛り上がっていただけるだけの『伸び代』がある事を感じさせる、そんな大



会だったように感じられました。

また、今回も運動会役員として、多くの方々のご協力を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

（体育部長会会長 青木 応浩）

苔玉の美しさに魅せられて



公民館苔玉教室を7月8日ほかほかランド美遊にて開催致しました。昨年の教室受講者の口コミで当日は20人の参加者がありました。

教室は苔玉クラブの皆さんのご指導で素晴らしい作品が次々に出来上がり「この苔玉いいじゃん！」「この苔も素晴らしいネー」ワイワイ、ガヤガヤ。作った苔玉が初めてとは思えない出来栄えに皆さん感動していました。

「苔玉は誰でもすぐ出来る所が面白い、苔から自然が見えて来る奥の深い魅力も有ります」と会長の谷さんの声です。苔玉は忙しい毎日の癒しに十分成った様です。

苔玉教室は9月頃に2回目を行う予定です。

（美麻公民館）

美麻地区夏季球技大会の 開催日と種目変更のお知らせ！

8月20日（日）に変更することが体育連絡委員会で決定されました。

当初の予定は27日（日）でしたが子どもの行事が有り日程の変更希望が寄せられ検討した結果20日に決定したものです。

併せて種目の選考をしました。高齢化、選手の減少、ケガ予防等分館の事情等を考慮し、誰でもが気軽に参加できる種目に決まりました。

種目はゲートボール、グラウンドゴルフ、ソフトバレーボールは男子の部、女子の部、男女混合の部の3部3種目となりました。

競技の詳細は7月21日の体育連絡委員会で決定しお知らせ致しますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。



（美麻公民館体育連絡委員会）

コミュニティ・スクールのお話

松やコナラの 苗を植えたよ！

5月20日（土）快晴に恵まれた大北地区植樹祭。今年度は松川村の「山の日」に合わせ同地区馬羅尾高原にて開催されました。大北地区小学校8団体が集結し、開祭式が行われました。炎天下の下、1時間余に及ぶ開祭式。子どもたちは集中しよく聞き入っていました。特に山のお姉さんの話っぷりは子どもたちを引きつけ、その後行う植樹の意味ややり方をしっかりと染みこませていました。

いよいよ植樹。森を切り開いたガラ場が美麻・八坂の担当です。スコップや鍬で掘り、お姉さんに仕込まれたとおり、葉や枝を取り除き、松やコナラの苗を植え、土をかぶせた後、それらの先端を持ちながら円形状に回り土を固めていきました。



昼食後、本校と白馬の学校2校だけが残り、土砂災害から守る植樹と治山の意味を小型キッドで実験したり、松食い虫の様子を顕微鏡で観察したりしました。

最後に様々な種類の倒木をのこぎりで切り、ペンダント状にした物をお土産として持ち帰りました。貴重な体験がこれからの生活に繋がっていくことを願います。

（文責 小林 隆）

朴葉巻おいしかったよ

生活科で端午の節句の勉強をしました。端午の節句には、こいのぼりを揚げたり、朴葉巻を食べたりすることが分かりました。こいのぼりを手作りした1年生は、2年生と朴葉巻を作ることにしました。

学校ボランティアの松下さん、鈴木さんに相談すると色々準備してくださいました。6月21日に朴葉巻作りをしまし

た。1、2年生のお母さんたちも手伝いに来てくださいました。学校の周りで集めた朴葉に、お母さんたちに手伝ってもらって作ったお餅を包み、ふかしました。調理室から朴葉の良い香りが学校中に漂い、他学年の先生や子どもたちが調理室をのぞきにきました。

1年生が作ったこいのぼりの下で、ふかし上がった朴葉巻をおいしく頂きました。朴葉巻の香りに包まれ、幸せ一杯になりました。地域の方々にも支えられ、益々健康で元気な1、2年生になれると思った一時でした。

（1年担任 岡江 都志勇）



「作品とじっくり向き合う」

北アルプス国際芸術祭を6月15日（木）に鑑賞しました。北アルプスの雄大な自然をテーマにした作品を心と体を開いて楽しみました。中には難しい作品もありましたが「わからないことをわからないと言う」「自分なりに考える」「友達の意見に耳を傾ける」ことを大切に、じっくり作品と向き合いました。

「色々な芸術を今日は見てきました。人それぞれの世界やアートがあると思いました。色々な角度、見方、思いによってもアートという物は同じ物でも変わって見えると思います。今日一番考えたことは、この芸術家はこういう思いでこれを作ったり、描いたりしたんだろうと思いました。また行ってみたいです。」
(9年生)



～キャリア教育講演会～ 東欧での生活と、白馬を盛り上げるために

職場体験学習を前に、白馬から「山のホテル」支配人の武藤慶太氏をお招きして6月13日（月）、ランチルームにてキャリア教育講演会が開かれました。スキージャンプ競技をきっかけに、ルーマニアへ青年海外協力隊員として派遣されたお話や、現在、「白馬」を盛り上げるために、トレイルランなど多くのところで精力的に活動されているお話をされました。

＜生徒の感想＞

・夢を持つこと、挑戦することの大切さが分か

りました。スキーのジャンプ台を1から作ったということがすごいと思いました。

(8年 中村千穂)

・海外というのはとても違うところなのだと思います。ジャンプ台も手作り、大会も個人で…本気でやると、誰かが応援してくれるのは本当だと思った。自分も一生懸命やっている、誰かしらが助けてくれる。これが一番心に残った。(8年 海端悦郎)

子ども世代に求められるネットスキル

6月13日（水）に防犯教室を行いました。今年の防犯教室では、NTTドコモスマホトラブル対策室の方にお越しいただき、インターネット利用による危険性について教えていただきました。ホップ期ではアニメーションで、ステップ・ジャンプ期では再現ドラマで事例提供をしていただき、使用のマナーについて学習しました。子どもたちにも今や身近になっているインターネット。それ自体は楽しくて便利なものですが、正しい知識を身につけないと大変危険だということを忘れてはいけま

せん。子ども世代にも、発達段階に応じたネットスキルが求められています。

＜児童・生徒の感想＞

・ほくもスマホや携帯はほしいなと思っています。でも、お話でもあったようにスマホなどを持つと、身近に危険があるということがわかりました。なので、スマホなどを持つときは、十分気をつけたいです。

(6年 岡田悠翔)

美麻市民科レポート

6月4日美麻小中学校の美麻市民科8年生の「花豆の商品化、銀座ナガノを目指すグループ」は県政出前講座を利用して、花豆の栽培と商品化について学びました。

大町保健所から3名のそれぞれの分野の担当職員が来て説明を受け、商品化では、食品製造に関するそれぞれの許可がすべてしているのか？など突っ込んだ質問をしました。

コミュニティ・スクールでは、日ごろ学習支援に関わっている支援ボランティアのみなさん4人も参加し、生徒とともに大人も学ぶという姿勢で栽培や製品化について質問をしてとても良い時間になったと思いました。

保健所のみなさんからは、「ぜひ頑張って商品化してください。お手伝いできることはさせていただきます。」とのコメントを頂きました。
(学校支援コーディネーター 前川浩一)



花豆通信 第1号 ぽかランでアンケートにご協力を

多くの方とかかわりあいながら学んでいく市民科では、8・9年生13名で花豆を中心に据え、学習しています。その取り組みを多くの人に発信し、地域の方とかかわり合いながらよりよい学習にするため、花豆通信をはじめさせていただきます。

ここまでの学習では、「(花豆を)育てる会」「デザインルーム」「戦略チーム(商品開発等)」と3つのチームに分けて活動してきました。また、地域の栽培経験者や大町市保健所等の方を招き、方向性を探ってきました。その結果、「商品化するには、絞らなければならない。どのような商品なら都市の人が興味を引き、購入していただけるかを知るために、アンケート調査をしよう。」ということで、ぽかぽかランド美麻にアンケートBOXを設置致しました。お立ち寄りの際には、ぜひご協力をお願いします。

また、今後の展開として、第1弾、8月6日(日)に東京都東久留米市前沢、小金井街道沿いの『菓子工房PURE』さん(山留生 鈴木水響くんの母親の店)にて『花豆モンブラン』の販売をします。デザインを考え、メンバーで試食したケーキです。遠方になりますが、もしよろしければお立ち寄りください。

さらに、第2弾として、10月22日(日)にぽかぽかランド美遊で行われる地区文化祭にて、花

豆のイベントを開催する予定です。そこで、次の参加者の募集をします。

1. 花豆料理コンテスト
(昨年度に引き続き花豆料理)
2. 花豆コンテスト
(花豆の大きさ、ツヤなど、出来映えを競います)

詳細は、後日決定いたします。ぜひ、料理が得意な方、花豆を栽培している方はご参加下さい。参加希望者は、美麻小中学校8年担任 青沼健二までお願いします。



■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info